

年頭所感



町長
齊藤 隆

自主測定を実施し、子ども達の健康を守るとともに、その数値を公表してまいりました。

また、コメ、ピーマン、ミニトマト、落花生、ブロッコリー、ニンジン、ネギ、イチゴ等、当町の主要農産物が放射性物質検査を受けることとなり、生産者の皆さまには、大変ご心配をおかけしましたが、各品目とも放射性物質は検出されず、予定どおり出荷することができました。

食肉センターでも、食品放射能測定器を国から借り受け牛肉の全頭検査を行い、安心して安全な食肉を市場に供給しています。

これらの節電や放射能対策は、今後もしばらく続きそうですので、皆さまには昨年同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、今年、私が町政を担当して3年目となります。これまで「すべては町民のために」を私の政治理念として、町民の皆さまとの「協働のまちづくり」を目指し、職務に当たってまいりました。

私は、この「協働のまちづくり」を新春早々、実感することとなりました。それは、来月に町内全域で光ファイ

バー網の整備が完了する見込みとなったからです。

町長に就任した一昨年、町内の光ファイバー網整備のための要望活動を行いました。町と多くの町民の皆さまが同じ目標に向かい、困難と思われた要望総数が達成できた時、私は興奮とともに「協働」がもたらしたパワーを感じました。そして、そのパワーはついに、夢を現実へと変えてくれました。

『光ファイバー網の整備は、協働の賜物である』

私は、この成果を今後の教訓として、決して忘れまいと思っています。

光ファイバー網の開通以外で、今年に予定されている主な事業では、3月に東陽小学校の屋内運動場（体育館）が完成します。入学式は、新しい屋内運動場を会場に挙げる予定です。

白浜小学校屋内運動場及び特別教室棟改築事業は、来年の3月完成を目指して、4月以降の工事着工を予定しています。

昨年から実施しています防災行政無線更新事業（デジタル化）は、3月までに屋

外拡声子局の増設・更新を完了し、4月以降に、戸別受信機の交換作業を行う予定です。

なお、防災関連では、九十九里浜沿岸でも、九十九里有料道路がある地域は、道路が防波堤となり、東日本大震災の津波被害を最小限に抑えることができました。当町も津波対策として有効な「減災道路」（例えば、九十九里有料道路の延伸等）の建設を、町議会とともに、国・県・関係機関に強く要望してゆく所存です。

横芝光町は、3月27日に満6歳の誕生日を迎えます。人であれば、今年小学校入学の年です。子どもが健やかに成長するように、町も元気に成長していきたいと願っています。そして、町民の皆さまが、横芝光町をふるさとと思えるようなまちづくりを推進する所存ですので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、今年が皆さまにとりまして幸多く、そして大空に駆け上がる龍の如く飛躍する1年となります。心からご祈念申し上げます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の運営に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害を体験することとなりました。幸い当町では、人命に係わる被害はなかったものの、家屋の浸水や損壊、農地の冠水、上水道管や農業用パイプラインの破損など、その被害は町内全域に及びました。

また、東日本大震災の津波は、東京電力福島第一原子力発電所を破壊し、電力不足と放射能汚染という「2次災害」を引き起こしま

した。

電力不足は、計画停電という非常事態を招き、これを回避するため家庭や企業等では節電が急務となりました。町では、夏季から継続して、庁舎等の空調の稼働を抑え、事務室や廊下等の照明を減灯するなどの節電を実施しております。来庁される皆さまには引き続き、ご不便をおかけすることとなりますが、ご理解をお願い申し上げます。

放射能汚染は、事故現場から遠く離れた当町でもその濃度が懸念され、生活に欠かせない上水道の水質検査をいち早く開始しました。また、保育所や小・中学校等でも、定期的に放射能